

CASBEE® 広島

(2010年ver.1)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE広島 2009年版

■ベース評価ソフト: CASBEE-Ncb_2008(v.3.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)サーパス高須駅前 新築工事	階数	地上11F、地下0階
建設地	広島県広島市西区庚午北二丁目	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域、防火指定なし	平均居住人員	105人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2013年7月 予定	評価の実施日	2012年6月7日
敷地面積	1,242 m ²	作成者	平田 英純
建築面積	396 m ²	確認日	
延床面積	2,946 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.4 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 大項目の評価(レーダーチャート)

2-3 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Qのスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.2

LR 環境負荷低減性

LRのスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア = 3.5

「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア = 4.0	スコア = 1.3	スコア = 3.1
設計の計画上特段に配慮した事項 壁・床に遮音性能を持たせ、内装材にF☆☆☆☆を採用することで居住環境の向上を図った。/全ての住戸で2面以上の採光・通風を確保した。/エコキュートを採用した。/節水型便器、節湯器具を採用した。/LCCO ₂ 排出率 79%	設計の計画上特段に配慮した事項 /駐車場・駐輪場を整備することにより、敷地周辺の交通負荷軽減を考慮した。	設計の計画上特段に配慮した事項 劣化対策等級2相当の躯体や耐用年数の高いタイル貼を採用した。/躯体に損傷を与えない事を前提としている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される